

年度評価シート

課名 スポーツ振興課

施設の名称 西ケ谷総合運動場（テニスコート、陸上競技場、野球場、グラウンドゴルフ場、ターゲットボードゴルフ場、屋内プール） 清水総合運動場（体育館、陸上競技場、多目的グラウンド、武道場、弓道場、アーチェリー場、水泳場）	指定管理者名 公益財団法人静岡市体育協会
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務</p> <p>両施設とも、施設管理業務、施設利用許可等に関する業務、利用者へのサービス提供に関する業務を実施したほか、建築物の維持管理業務について一部を第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。</p> <p>施設設備等の維持管理業務については、適切な維持管理が行われており、必要に応じて担当課と協議を行い、利用者の安全、安心に重点をおいた適切な対応がとられている。</p> <p>各施設の主な修繕内容は以下のとおりである。</p> <p>ア 西ケ谷総合運動場</p> <p>野球場アンツーカー廻り人工芝メンテナンス修繕 プール男女ロッカー室排気ファン取替修繕 陸上競技場外周LED更新修繕</p> <p>イ 清水総合運動場</p> <p>体育館床補強修繕 武道場雨漏り修繕 消防設備修繕</p> <p>(2) 施設利用者数</p> <p>令和2年度の利用者数は、目標値393,786人（西ケ谷214,869人、清水総合178,917人）に対し、実績値239,619人（西ケ谷136,012人、清水総合103,607人）で、達成率は60.9%となっている。また、前年度実績336,871人に対し、29%の減少となっている。</p> <p>これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月中旬から5月末まで休館したこと、再開後も諸室ごとの利用人数に上限を設けたこと、各種イベントや大会が相次いで中止となったことが原因である。利用者数は大きく減少したものの、手指等消毒剤やビニールカーテンの設置など迅速な感染症防止対策を実施し、安心・安全な施設運営を行ったことは評価できる。今後も感染症防止対策を徹底したうえで利用促進に努め、良好な運営を図りたい。</p>	

施設ごとの利用者数は、以下のとおり。

施設名	利用者数（人）		
	R1年度	R2年度	前年度比較
西ケ谷総合運動場	183,187	136,012	△47,175
清水総合運動場	153,684	103,607	△50,077
計	336,871	239,619	△97,252

(3) 事業実施状況

仕様書に定める指定事業15事業（西ケ谷5事業、清水総合10事業）以上に対し、26事業（西ケ谷13事業、清水総合13事業）を実施した。

また、事業計画書に記載の自主事業24事業（西ケ谷12事業、清水総合12事業）に対し、26事業（西ケ谷19事業、清水総合7事業）を実施した。

指定事業と自主事業を合わせて延べ12,996人が受講した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、4月から7月までの第1期スポーツ教室の中止や、第2期及び第3期の教室についても競技の特性上感染症防止対策が十分にできないと判断した教室は中止したが、TwitterやYouTubeを活用し、ストレッチや筋力トレーニングなど自宅で出来る運動メニューを積極的に提供した。これは静岡市スポーツ推進計画に掲載している「スポーツに関する充実してほしい情報」の上位に位置づけされている「自宅等で簡単にできる軽運動等やストレッチ法に関する情報」に合致した取組といえる。

また、施設再開後は、教室の定員数を減らすなど感染症防止対策を講じた上での事業運営を行いつつ、より多くの市民にスポーツの機会を提供することを目的としたワンコイン教室（500円）や短期間教室を多く実施するなど、創意工夫した事業展開がされており高く評価できる。

主な事業及び受講者数は以下のとおり。

施設名	事業名	延べ受講者数 (実績)	定員
西ケ谷総合運動場	(指定) 幼児水泳	600	660
	(指定) 中級クロール・平泳	212	440
	ぎ	411	576
	(自主) ジュニアソフトテニス		
清水総合運動場	(指定) 幼児体操	424	440
	(指定) バドミントン	1,225	1,540
	(自主) 太極拳	222	400

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応等）

両館とも、幼児から高齢者まで幅広い年齢層が利用するため、意見・要望も多種多様であるが、利用者からの意見・要望について適切な対応がとられている。

今後も、利用者からの多種多様な意見・要望に対して、親切丁寧に対応されたい。

[具体的な意見・要望と対応状況]

(1) 西ヶ谷総合運動場

意見・要望

更衣室が汚い、プールに入るところのシャワーの床が水たまりになっていて、滑って危険だ。

対応・回答等

いつもご利用ありがとうございます。トイレや更衣室など清潔な状態を維持するため細心の注意を払い行っていますが目の行き届かない点があったかもしれません。気持ちよく使用していただくために今後も更に注意して清掃を実施してまいります。

シャワーの部分に関しては、プールの衛生管理のため、プール使用前及び使用後にシャワーの利用を義務付けていることから、常に水がある状態で滑りやすくなっています。ブラシ、水切りなどで更に清潔な状態を確保します。

(2) 清水総合運動場

意見・要望

遊具が欲しい。

対応・回答等

当運動場では、市民のスポーツの振興及びレクリエーションの推進を図るため、体育館や陸上競技場を始め各種競技に応じた施設を整備しておりますが、競技施設外の遊具につきましては、設置の予定はございません。

ご利用者様のお住まいの近くにあります街区公園や近隣公園等の遊具をご利用ください。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用満足度調査

施設利用者及び教室参加者に対して、満足度調査を実施した。

施設利用者満足度調査では、集計総数402件、①職員の態度・対応 ②施設の使いやすさ ③施設の清潔度 という3項目について調査を行い、「大変良い」「良い」という回答が1,183件（3項目のため1,206件中）で98%という結果だった。指定管理者が事業計画書に記載した92%を達成しており、利用者にとって有益な施設運営がなされていることがわかる。

教室参加者満足度調査では、集計総数327件中、「大変満足」「まずまず満足」という回答が322件で98.5%という結果だった。市が仕様書に規定する目標値90%を上回っており、事業運営においても、参加者のニーズに対応した良好な運営がなされていることがわかる。

(2) 市民アンケート

各施設の認知度、利用状況、興味のあるスポーツなど、市内在住の15歳から80歳の男女1,000人に対し、スポーツ施設に関する意識調査をインターネット上で実施した。両館の認知度は以下のとおりであり、前年度と比較すると増加しており、施

設所在地区においては高い認知度を得ているが、総じて認知度が高いとは言い難い結果である。施設の広報・PR方法の工夫や、利用者の裾野を広げる事業展開を通じて、認知度の更なる向上に期待したい。

○「施設を知っている」と回答した人数の割合（％）

施設名	R1年度	R2年度	前年度比較
西ヶ谷総合運動場	52.3	54.8	+2.5
清水総合運動場	44.3	51.2	+6.9

(3) その他アンケート

各施設のロビーに意見箱を設置し、市民の視点からの意見・要望等を適切に取り入れ、良好な施設運営に活かしている。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務における収支状況については、適正に執行されている。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況等）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

管理運営全般については、事業計画に従い良好に運営されており、利用者からの意見に迅速かつ丁寧に対応している。感染症防止対策のため、施設の一時休館及び再開、教室中止した際に、市の要請に基づき、新型コロナウイルス感染症対策の実施（ロッカーの間引き、消毒液やパーテーション等衛生設備の設置、定期的な換気及び清掃）や、利用者への注意喚起（ポスター掲示、施設HP掲載）など、施設対策を迅速かつ適切に対応し評価できる。新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は大きく減少したものの、稼働率については大幅な低下は見られず、目標稼働率を達成した諸室もあるため、今後も利用促進に取り組んでほしい。

施設維持管理については、事業計画に基づき、業務ごと専門業者と委託契約を結び、利用者が安心して施設を利用できる体制が整えられている。また、業者から指摘された問題点については業者からの報告書をもとに施設内で共有し、早急な対応が必要であれば指定管理者による修繕を実施するとともに、大規模な案件については市に報告及び協議を行うなど適切に対応している。また、指定管理者による修繕等については、委託業者に任せるだけでなく、職員自らが利用者目線で施設の簡易的な補修等を行ったり、自発的に施設外清掃を行ったりと施設美化を含めた維持管理を行っており、評価できる。

事業全般については、幼児から高齢者まで幅広い世代が各々の運動レベルに応じて参加できる事業を数多く実施し、利用者の確保に努めている。

指定事業については、第2期・第3期の教室について、定員を減らすなど感染症防止対策を徹底した上で実施した。

自主事業については、西ヶ谷総合運動場では、指定・自主とも定員に空きがある定期教室を昨年度までは見学のみに対応だったが体験受講できる機会を創出した。また、中止した教室の代わりに7月にワンコイン教室（500円）を実施したり、新型コロナウイルス感染症に左右されないよう1回から参加できる短期教室を数多く実施したりと、定期教室の受講へ繋がるよう取り組んだ。そのほか、グランドゴルフ場を活用した「親子チャレンジスポーツ」や「水鉄砲大会in西ヶ谷夏の陣」などを実施し、水泳場以外の屋外施設を有効活用した。今後も施設の特徴を活かした事業展開による利用促進に期待する。

清水総合運動場では、新型コロナウイルス感染症の影響により中止予定であった、参加者が多い「やってみよう！陸上競技体験」を、会場の確保や講師との日程を再調整の上4回実施し、受講者のニーズに即した教室運営に取り組んだ。また、自施設の職員が指導する「トランポリン教室」や「太極拳教室」など特色ある事業展開に取り組んだ。そのほか、平成30年度に引き続き、静岡県立大学からの依頼に応じアーチェリーとオリエンテーリング（施設外）を組み合わせた大学の学外集中講義「ライフスポーツ授業」の実施に向け、会場や指導者の確保など全面的に協力した。今後も利用者ニーズに即した独自性のある魅力的な事業に期待する。

そのほか、地域の小・中学校やスーパー、地元自治会等を通じてポスターやチラシの配布及び広報を依頼し、積極的に地域交流に取り組んでいる。

本市の目標でもある「市民一人1スポーツ」をさらに推進できるよう、各施設間、当課及び各関係機関との連携を更に強化するとともに、施設の特徴と体育協会の専門性を活かした管理運営及び創意工夫ある事業展開を期待する。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。